

KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先: 虎ノ門事務室 [メールまたは電話])
 ※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科 目 名		科目コード	単位数	開講期	講義形式
経営倫理とパーパス経営特論		Z 171	1 単位	4学期	ハイフレックス
Business Ethics and Purpose-driven Management					
科 目 分 野		課 程 領 域			
戦略思考・コンサルティング		イノベーションマネジメント共通科目			
担 当 教 員 名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー			
山田英二	-	土曜日			

関 連 し て い る 科 目 (履修推奨科目)		
全科目	グローバル・ビジネス特論	

授 業 の 概 要 と 到 達 目 標

授業の主題と概要

ESG投資の拡大、SDGsへの要請、脱カーボン、そして人権デューデリジェンス。企業を取り巻く外部環境は劇的に変化しており、かつてのような「利益追求」のみを是とする経営はもはや通用しません。しかし、これらを単なる「守るべき規制」として受動的に捉えるだけでは、企業の持続的な成長は望めません。
 本講座では、経営倫理をコンプライアンス(法令順守)の枠を超えた「戦略的課題」として捉え直します。前半では、企業の不祥事や不正がなぜ繰り返されるのかという構造的な問題から出発し、CSR(社会的責任)、CSV(共通価値の創造)、そして現代の「パーパス経営」へと至る進化を体系的に学びます。又、後半では、そうした企業の社会的役割を自分事として捉えるべく、身近な社会課題への取組事例等を題材に、多様性や包摂性、様々な経済主体と協働するコレクティブ・インパクトなどの学びも踏まえて、職場或いは個人として実現性の高い新たな取組について考えていきます。

到達 (修得) 目標

「正解」のない問いに、あなたならどう答えるか?
 外部環境の変化を読み解き、自社の「存在意義(パーパス)」を軸に意思決定する力を養う

受講対象者

イノベーションマネジメント専攻の全受講生

履 修 上 の 注 意 事 項 や ア ド バ イ ス

本講座の特徴は、「知識」を「自分の問題」へと転換する実践的な授業設計にあります。一方的な講義ではなく、対話、ロールプレイ、そして自社の現状を振り返る演習を通じて、「もし自分が経営者や現場の責任者だったら、このジレンマにどう向き合うか」を徹底的に問い続けます

★出席はきわめて重要。

※ 本科目は、集中開講または変則開講クラス(合計8コマ)で構成する。開講日時に注意すること。
 ※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。
 ※ 担当する教員は実務家教員とする。
 ※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

コンピテンシ 修 得 目 標					
知識領域 (Y 軸)		ヒューマンパワー (Z 軸)		思考プロセス (X 軸)	
Y1: 基盤法令・テクノロジー	○	Z1: 問題発見力	○	X1: 企画	○
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー		Z2: 独創力		X2: 構想	○
Y3: グローバル法令・実務	○	Z3: 問題解決力	○	X3: 調査・分析	
Y4: マネジメント	○	Z4: プレゼンテーション力		X4: 設計・開発	
Y5: 戦略立案		Z5: 変革推進力	○	X5: 変革	○
Y6: 標準化		Z6: コミュニケーション力	○	X6: 導入・運用	
		Z7: リーダーシップ力		X7: 評価・検証	
		Z8: ネゴシエーション力		X8: リーガルマインド	
		Z9: オーナーシップ力		X9: ライフサイクル	

プ ラ ク テ ィ カ ム			
イ ベ ン ト / ケ ー ス		教 育 技 法	マ テ リ ア ル / ツ ー ル
1	不正会計事件	ケーススタディ	事前告知
2	ESG投資の展開	ケーススタディ	事前告知
3	CSV戦略	ケーススタディ	事前告知
4	パーパス経営	ケーススタディ	事前告知
5	無意識のバイアス	調査報告に関する討議	事前告知
6	社会的インパクトファンド	ケーススタディ	事前告知

評価の方法		
(総合評価項目と割合)		評価の要点
出席・受講態度	30%	毎回クラスに積極的に参加し、適切な質問や発言を通じた貢献を評価する。 また、毎回提出する質問票回答の内容を評価する。 毎回、事務室より出席簿を準備する。
質問票回答/クラス貢献	40%	
発表	30%	
合計	100%	

テキスト・参考図書など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
テキスト (購入が必要)	・レベッカ・ヘンダーソン『資本主義の再構築——公正で持続可能な世界をどう創るか』日経BP、2021年	ケースは各自が購入し、事前に熟読しておくこと * http://www.bookpark.ne.jp/harvard/
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	・ M. E. Porter & M. R. Kramer (2011) “Creating Shared Value,” HBR, Jan-Feb. (邦訳:「共通価値の戦略」DIAMONDハーバード・ビジネス・レビュー 2011年6月号) ・ 名和高司『パーパス経営:30年先の視点から現在を捉える』東洋経済新報社、2021年 ・ 経済産業省「ダイバーシティ2.0行動ガイドライン」2017年(2022年改訂)	
参 考 U R L		
適宜紹介予定		

コマ	学習内容		事前準備・課題	担当者	時間
1,2	企業を取り巻く外部環境の変化(1)		ケーススタディに関する質問票への回答準備	山田	90分
	イベント	ケーススタディ(不正会計事件)			
	企業を取り巻く外部環境の変化(2)		ケーススタディに関する質問票への回答準備	山田	90分
	イベント	ケーススタディ(ESG投資)			
3,4	企業の内発的応答(1) CSR・CSV		ケーススタディに関する質問票への回答準備	山田	90分
	イベント	ケーススタディ(CSV戦略)			
	企業の内発的応答(2) パーパス経営		ケーススタディに関する質問票への回答準備	山田	90分
	イベント	ケーススタディ(パーパス経営)			
5,6	様々な社会課題との関わり		ケーススタディに関する質問票への回答準備	山田/ゲスト	90分
		ケーススタディ(中間支援団体による多様な協働事例)			
	多様性と包摂性(D&I / DEI)		ケーススタディに関する質問票への回答準備	山田/ゲスト	90分
		ケーススタディ(無意識のバイアス、多様性への対応)			
7,8	コレクティブ・インパクト		ケーススタディに関する質問票への回答準備	山田/ゲスト	90分
	イベント	ケーススタディ(社会的インパクトファンド)			
	グループ発表と総括		課題に関する発表の準備	山田/ゲスト	90分
	イベント	経営倫理上の課題に関する分析と対策案発表			

2026.07

※ 学習内容やスケジュールは、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。
講義収録は、特別講師を招く場合など、内容によっては収録できない場合があります。